

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス デイズサポートBell

公表日 令和7年 1 月 14 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		・少し狭さは感じるが法令を遵守し、運動の出来るスペースを確保している。	・内容によっては十分な確保が難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		・法令で定められている配置数より常に1~2名多く配置し療育に取り組んでいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		☐	・バリアフリー化はされていないが今必ずしも必要な状況にも無いと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		・毎日の掃除も行き届き清潔空間で過ごさせている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		☐	・体調の悪い時は衛立などで別空間を確保したり、別部屋で個別に対応している。	・別部屋は個室ではあるが道具等置いてあり気が散ってしまうので衛立で環境を整えている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		☐		・PDCAサイクルにパート勤務者は深く参戦していない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		・毎年評価表で頂いた意見を踏まえ、出来る範囲で業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		・朝礼等反省の時に意見や改善点を出す機会があり、次の活動に向けて改善をしている。参加できない職員は記録を見てもらう。	・全職員での朝礼への参加が難しい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		・随時、研修等に参加し知識・実技を得ることが出来る様にしている。	・参加状態はあまりよくない。交代で参加出来る環境にしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		・ホームページ上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐		・契約時、面談時にアセスメントを行い、子どもへの聞き取りも行い、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		・職員個別支援会議の中で共通理解をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		・ファイル等で時間がある時各自目を通してもらう。	・パートさんへの周知が遅れたり時間が足りず共有が難しい時がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		☐		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		☐	・今後個別支援計画の中に組みこんで行くようにする。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		☐	・打ち合わせは全員で行い周知するようにしている。	・立案は個別で行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		・固定化しないよう個人やチームで工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	☐		・必要に応じて個別も行うようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	☐		・当日出勤の職員とは打ち合わせを行い連携しながら支援をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	☐		・長期休み等は振り返りは難しいが、気付いた点等はその都度出し合うようにしている。	・終了後は送迎等で時間をあわせるのは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	☐		・支援後は毎日記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	☐		・年2回のモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		☐	・「4つの基本活動」について全職員に周知する	・4つの基本活動について職員が把握していない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	☐		・活動の中で子ども達に決めてもらい、進めてもらい自主性を育てる内容を取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		☐	・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☐			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	☐		・送迎時に連携をとるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		☐		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		☐		・現時点で該当児がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		☐		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		☐	・他事業所との合同療育はある。	・児童クラブや児童間との交流は出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		☐		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☐		・毎回利用時に連絡帳にて子供の様子をお伝えしている。 送迎時にも時間がある時はその日の様子をお伝えしたり また、面談では課題等についても話をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		☐		・家族支援プログラムについては、まだできていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☐		・契約時や面談時に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	☐		・支援内容を説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐		・随時相談には応じるようにしており、必要に応じて助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・今後検討していく。	・父母の会については前年度聞き取りを行った。無くても良いと思っている保護者が大半であったが中にはあってもよいとの意見もあった。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情や意見に対しては迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月お便りを発行している。 ホームページでは活動内容も発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・簡単に見れないように普段は鍵をし保管をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じて行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・様々なマニュアル作成をしており、周知をしている。 保護者にもホームページ等で周知する。	・
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPの策定は出来ている。 訓練等は少しずつ行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメントの際、持病については細かく聞き取りをしており職員にも周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーも同様にアセスメント時間を取りをしている。 現段階では医師の指示書が必要な児は該当しない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・作成している。 常日頃から安全には十分気を付けている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・面談時や契約時に周知するようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ハビヤリハットについてはその都度記録、周知し再発防止を心がけている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修機会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・保護者には事前に説明し同意書を頂いている。	